平成24年２月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月３日

上 場 会 社 名　　株式会社 ワンダーコーポレーション　　上場取引所　　大
コ ー ド 番 号　　3344　　URL　http://www.wonder.co.jp
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)宇津木 雅美
問合せ先責任者　(役職名)取締役管理本部副本部長　(氏名)塚田 英雄　　(TEL)029(853)1313
四半期報告書提出予定日　　平成23年10月11日
配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1.　平成24年２月期第２四半期の連結業績（平成23年３月１日～平成23年８月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年２月期第２四半期	30,696	△0.8	424	252.9	470	205.8	△761	―
23年２月期第２四半期	30,934	△2.6	120	△79.9	153	△74.7	4	△97.9

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 １株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年２月期第２四半期	△14,880.52	―
23年２月期第２四半期	93.29	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年２月期第２四半期	27,058	9,745	35.9	189,697.64
23年２月期	27,431	10,635	38.6	207,078.96

(参考)　自己資本　　24年２月期第２四半期　　9,702百万円　　23年２月期　　10,591百万円

2.　配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年２月期	―	0.00	―	2,500.00	2,500.00
24年２月期	―	0.00			
24年２月期(予想)			―	2,500.00	2,500.00

(注)　当四半期における配当予想の修正有無　：　無

3.　平成24年２月期の連結業績予想（平成23年３月１日～平成24年２月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	△1.7	1,150	34.1	1,200	27.2	△300	―	△5,865.22

(注)　当四半期における業績予想の修正有無　：　無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　　：　無

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：　無

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　　：　有

② ①以外の変更　　：　無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年２月期２Ｑ	54,036株	23年２月期	54,036株
② 期末自己株式数	24年２月期２Ｑ	2,887株	23年２月期	2,887株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年２月期２Ｑ	51,149株	23年２月期２Ｑ	53,459株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 ……2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ……2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 ……2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 ……3
2. その他の情報 ……4
(1) 重要な子会社の異動の概要 ……4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 ……4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 ……4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
3. 四半期連結財務諸表 ……5
(1) 四半期連結貸借対照表 ……5
(2) 四半期連結損益計算書 ……7
【第２四半期連結累計期間】 ……7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……8
(4) 継続企業の前提に関する注記 ……10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10
4. 補足情報 ……11
(1) セグメント別商品別販売実績 ……11
(2) 役員の異動 ……12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で低下した企業の生産活動が急速に回復に向かっているものの、欧米の景気減速懸念による急速な円高、国内の電力供給不安により、景気の先行きは依然不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループのWonderGOO事業におきましては、「店舗はお客様に対する情報発信の場」という考え方のもと、フルＨＤ画質で全店同時に情報発信できるデジタルサイネージシステム（電子看板）をこれまでの音楽ソフト・ゲーム売場に加え、書籍・化粧品売場にも導入いたしました。また、WonderREX事業におきましては、買取の査定時間の短縮を図るためiPad買取査定システムを全店に導入し、業務効率の向上を実現いたしました。更に、各店で行っていた買取品の補修を集中して行うリペアセンターを7月から稼働させ、補修効率の向上を図ってまいりました。

経費面におきましては、震災の影響から改装スケジュールを見直すとともに、空調の自動制御システムの一部店舗への導入と節電の実施等により販管費の抑制を図りました。

店舗面ではWonderGOO総和店を移転増床し、WonderGOO古河店として新たにリニューアルオープンいたしました。また、WonderGOO富岡店にレンタル売場を新たに導入する改装を実施いたしました。なお、店舗運営効率化の観点からインショップ1店舗を閉鎖した結果、当第２四半期連結会計期間末の直営店舗数は95店舗、ＦＣ店舗数は24店舗となりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は30,696百万円（前年同期比0.8％減）、営業利益は424百万円（前年同期比252.9％増）、経常利益は470百万円（前年同期比205.8％増）となりました。

四半期純損失は、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額224百万円、災害による損失295百万円及び訴訟和解金780百万円の計上等により△761百万円（前年同期の四半期純利益は4百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、14,270百万円となり、前連結会計年度末に比べ123百万円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が290百万円増加したものの、現金及び預金が345百万円、売掛金が85百万円減少したことによるものです。

（固定資産）

当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、12,788百万円となり、前連結会計年度に比べ249百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が51百万円、無形固定資産が35百万円、投資その他の資産が162百万円減少したことによるものです。

（流動負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、13,262百万円となり、前連結会計年度末に比べ155百万円増加いたしました。これは主に1年以内返済予定の長期借入金が212百万円減少したものの、短期借入金が300百万円増加したことによるものです。

（固定負債）

当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、4,051百万円となり、前連結会計年度末に比べ362百万円増加いたしました。これは主に資産除去債務が471百万円増加したことによるものです。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は、9,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ890百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失761百万円の計上と、剰余金の配当127百万円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ345百万円減少し、1,403百万円となりました。

当第２四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に減価償却費466百万円、減損損失110百万円及び資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額224百万円により資金が増加したものの、税金等調整前四半期純損失938百万円及び法人税等の支払額209百万円により資金が減少したことにより７百万円の減少（前年同四半期は20百万円の資金の減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、敷金・保証金の回収により161百万円増加したものの、有形固定資産の取得による支出296百万円により231百万円の減少（前年同四半期は669百万円の資金の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金が61百万円（短期借入金並びに長期借入金の合計額）増加したものの、リース債務の返済による支出41百万円及び配当金の支払により126百万円減少したことにより、106百万円の減少（前年同四半期は184百万円の資金の減少）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期累計期間の連結業績につきましては、東日本大震災の影響による売上高の減少が当初の想定よりも軽微で推移し、売上高が予想を上回りました。この売上高増による売上総利益高の増加や当初計画の新規出店及び改装の一部延期、節電等による販管費の減少に伴い、営業利益、経常利益において予想を上回る見通しとなりました。

また、平成23年８月５日の「和解による訴訟の解決及び特別損失の発生に関するお知らせ」のとおり、訴訟和解金を計上いたしましたが、当期純利益におきましても予想を上回ることとなりました。

こうした状況を加味し、通期の連結業績予想につきましては、売上高64,500百万円、営業利益1,150百万円、経常利益1,200百万円、当期純利益△300百万円を見込んでおります。

なお、詳細につきましては、平成23年９月22日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（簡便な会計処理）

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第２四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法を採用しております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

（「資産除去債務に関する会計基準」等の適用）

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益が13,564千円減少し、税金等調整前四半期純損失が237,886千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は452,529千円であります。

表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用に伴い、当第２四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成23年８月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成23年２月28日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,403,767	1,748,969
売掛金	891,575	977,371
商品	8,638,137	8,688,199
貯蔵品	25,829	14,411
未収入金	1,588,411	1,578,624
繰延税金資産	1,059,411	768,424
その他	669,753	625,205
貸倒引当金	△6,870	△7,634
流動資産合計	14,270,017	14,393,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,823,848	4,777,075
その他（純額）	1,556,984	1,654,818
有形固定資産合計	6,380,832	6,431,894
無形固定資産		
のれん	－	18,013
その他	319,938	337,510
無形固定資産合計	319,938	355,524
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,772,500	4,852,985
その他	1,395,273	1,477,732
貸倒引当金	△79,565	△79,865
投資その他の資産合計	6,088,209	6,250,853
固定資産合計	12,788,980	13,038,271
資産合計	27,058,997	27,431,842

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成23年８月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成23年２月28日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,802,474	5,769,723
短期借入金	3,050,000	2,750,000
1年内返済予定の長期借入金	1,414,896	1,627,826
未払法人税等	69,741	266,026
賞与引当金	141,498	142,177
ポイント引当金	1,275,607	1,237,133
災害損失引当金	39,288	－
その他	1,468,666	1,314,243
流動負債合計	13,262,173	13,107,129
固定負債		
長期借入金	2,329,398	2,354,606
退職給付引当金	179,425	173,081
長期預り保証金	289,678	304,383
資産除去債務	471,745	－
その他	781,352	857,013
固定負債合計	4,051,598	3,689,084
負債合計	17,313,772	16,796,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,358,900	2,358,900
資本剰余金	2,360,793	2,360,793
利益剰余金	5,196,034	6,085,031
自己株式	△212,931	△212,931
株主資本合計	9,702,798	10,591,794
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	46	87
評価・換算差額等合計	46	87
新株予約権	42,380	43,747
純資産合計	9,745,224	10,635,629
負債純資産合計	27,058,997	27,431,842

(2) 四半期連結損益計算書

【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年３月１日 至　平成22年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日）
売上高	30,934,381	30,696,418
売上原価	22,886,314	22,653,916
売上総利益	8,048,067	8,042,501
販売費及び一般管理費	7,927,769	7,618,014
営業利益	120,297	424,486
営業外収益		
受取利息	25,593	23,830
受取手数料	48,541	49,565
その他	30,675	32,129
営業外収益合計	104,811	105,525
営業外費用		
支払利息	67,840	59,482
その他	3,489	211
営業外費用合計	71,329	59,694
経常利益	153,779	470,318
特別利益		
固定資産売却益	－	1,242
貸倒引当金戻入額	530	1,064
新株予約権戻入益	111	1,367
災害見舞金	－	22,281
特別利益合計	641	25,955
特別損失		
固定資産除却損	10,800	25,061
減損損失	43,854	110,128
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	224,321
契約解約損	199	－
災害による損失	－	295,138
訴訟和解金	－	780,000
転貸契約等損失	3,600	－
特別損失合計	58,455	1,434,649
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	95,966	△938,375
法人税、住民税及び事業税	56,796	40,993
法人税等調整額	34,183	△218,245
法人税等合計	90,979	△177,251
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	－	△761,123
四半期純利益又は四半期純損失（△）	4,987	△761,123

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成22年３月１日 至 平成22年８月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成23年３月１日 至 平成23年８月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	95,966	△938,375
減価償却費	507,744	466,605
減損損失	43,854	110,128
のれん償却額	18,013	18,013
株式報酬費用	5,545	―
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,872	△678
退職給付引当金の増減額（△は減少）	6,584	6,343
ポイント引当金の増減額（△は減少）	3,743	38,474
受取利息及び受取配当金	△25,633	△23,860
支払利息	67,840	59,482
固定資産売却損益（△は益）	―	△1,242
固定資産除却損	10,800	25,061
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	―	224,321
災害見舞金	―	△22,281
災害による損失	―	295,138
訴訟和解金	―	780,000
契約解約損	199	―
売上債権の増減額（△は増加）	61,045	85,795
たな卸資産の増減額（△は増加）	35,784	12,495
仕入債務の増減額（△は減少）	△431,498	32,750
その他	△98,294	47,366
小計	306,567	1,215,538
利息及び配当金の受取額	410	245
利息の支払額	△69,491	△60,558
災害見舞金受取額	―	22,281
災害による損失支払額	―	△195,255
訴訟和解金の支払額	―	△780,000
法人税等の支払額	△258,344	△209,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,858	△7,026
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△717,836	△296,289
有形固定資産の売却による収入	―	2,399
無形固定資産の取得による支出	―	△19,019
貸付金の回収による収入	1,250	―
投資有価証券の取得による支出	―	△30,000
敷金及び保証金の差入による支出	△97,363	△42,516
敷金及び保証金の回収による収入	154,435	161,779
その他	△9,500	△8,208
投資活動によるキャッシュ・フロー	△669,014	△231,855

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年３月１日 至　平成22年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	850,000	300,000
長期借入れによる収入	－	850,000
長期借入金の返済による支出	△856,824	△1,088,138
リース債務の返済による支出	△44,161	△41,245
配当金の支払額	△133,647	△126,935
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,633	△106,319
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△874,506	△345,201
現金及び現金同等物の期首残高	2,104,987	1,748,969
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,230,480	1,403,767

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) セグメント別商品別販売実績

（単位：百万円、％）

商品名		当第２四半期連結累計期間（自 平成23年３月１日 至 平成23年８月31日）		前年同期比
		金額	構成比	
ゲームソフト及び関連商品	新　品	5,068	16.5	―
	中古品	2,770	9.0	―
	卸　売	1,354	4.4	―
	計	9,193	30.0	―
音楽ソフト	新　品	1,834	6.0	―
	中古品	820	2.7	―
	卸　売	421	1.4	―
	計	3,077	10.0	―
映像ソフト	新　品	927	3.0	―
	中古品	762	2.5	―
	卸　売	283	0.9	―
	計	1,973	6.4	―
書籍	新　品	6,534	21.3	―
	中古品	334	1.1	―
	卸　売	857	2.8	―
	計	7,726	25.2	―
化粧品	新　品	997	3.2	―
	卸　売	83	0.3	―
	計	1,081	3.5	―
携帯電話	新　品	2,414	7.9	―
レンタル	レンタル	1,815	5.9	―
その他	その他	1,048	3.4	―
WonderGOO事業	新　品	17,777	57.9	―
	中古品	4,688	15.3	―
	レンタル	1,815	5.9	―
	その他	1,048	3.4	―
	卸　売	3,000	9.8	―
	計	28,330	92.3	―
リユース商品		2,221	7.2	―
その他		112	0.4	―
WonderREX事業	計	2,334	7.6	―
報告セグメント計		30,664	99.9	―
その他	計	32	0.1	―
合計		30,696	100.0	―

（注）１　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
　　２　セグメント間取引については、相殺消去しております。
　　３　ＦＣ事業及びその他の卸売事業の売上高は、各セグメントに配賦されております。

(2) 役員の異動

当第２四半期連結会計期間末日後、当四半期決算短信提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役会長	取締役	小　濵　裕　正	平成23年10月３日